

1. 件名：特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合への対応について
2. 日時：令和4年9月15日 11：40～12：00
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
戸ヶ崎安全規制調整官、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官

日立造船株式会社：
機械・インフラ事業本部プロセス機器ビジネスユニット原子力機器事業推進室
室長 他4名※
5. 要旨
（1）日立造船株式会社（以下「日立造船」という。）から、本日の審査会合（第18回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合）において、以下のとおり、議論された事項の確認があった。

○ バスケットの仕様・構造について、概ねHitz-B52型と同等のキャスク構造であるものの、バスケットの材質、構造等について変更した箇所について、安全解析や構造強度への影響にどのような影響があるのか説明すること。

（2）原子力規制庁は、上記の確認事項に関する説明資料の作成を依頼するとともに、本日の審査会合における議論を踏まえ、引き続き確認を行うことを伝えた。

（3）日立造船より、本日の議論を踏まえた説明資料の作成等について、了解した旨、回答があった。
6. その他
提出資料なし

以上